

奈井江学園父母の会 会報 11号

学園長挨拶

支援費制度に思うこと

昨年中は支援費制度に入るための準備で皆様方にはとても忙しい思いをさせました。それと皆様方のご協力を頂き今回の支援費制度に入っていたことを深く感謝申し上げます。

今年は施設の運営に当たっても、いろいろなことが変わり、まだまだ、施設が追いついていないのが現状ですが、今のままではいろいろなところに支障が出てきますので、施設の中でも合理的に動ける様に改革しなければならないと考えています。しかし、施設利用

学園長 土岐昌弘

者がいての施設ですので、利用者の人権を守りながら出来るところから進めていこうと思っております。

また、前回の流汗に記しましたが、金銭的にも利用者の負担が大きくなって行きますので施設の中では心豊かな生活を送れる様に私達は努力しなければなりませんし、又、地域に出て行ける様に生活経験を高めてあげたいと思っています。この支援費制度が本当に障害をもつ人達の支援になれる制度である事を願っています。

学園ニュース



漬け物行事仕上げの漬け込みの日です。近年、利用者に人気のキムチの準備に余念がありません。新年会を楽しみにしててください。

xx月yy日

ふり返って

今年は暑い日もないまま、秋の収穫の時期をむかえ季節の移り変わりの早さにおどろきつつも、支援費制度導入等少しづつ福祉問題も変わりつつある中で、学園の各行事もなかなか出来ず一番のイベントの雪まつりにも、今年は都合で出席できませんでした。

弟も施設にお世話に成ってから、親元での生活より

工藤不二子

何倍も長い年月が過ぎようとしていますが、各行事を通して一緒に時間をともにしてゆきたいと思っておりますが、弟を含め利用者達全体が高齢化となり、指導の先生方も大変なことと思いますが、恵まれた環境のもと利用者達が日々快適な毎を送れることに感謝しつつ、これからもどうぞよろしく願いいたします。

今後の介護支援制度及び諸々のサービスに期待する

福田正義

平成15年4月より障害者の福祉サービスが介護支援費制度(即ち措置制度から利用契約制度)へ移行になりました。この新しい制度のもとで奈井江学園を運営していくにあたり、この移行のための手続きにおいて園長先生やその他関係職員のかたがたのご苦勞はたいへんではなかったかと、ここであらためてお礼申し上げます。

障害者福祉サービス関係においては、①措置制度から利用料助成を内容とする利用制度への変更、②身体障害者生活訓練事業、知的障害者ディサービス事業等の法制化、③知的障害者福祉に関する事務の市町村への委譲などが法制化され施行されました。今後とも、この支援制度を活用して、施設利用者への適切な支援やサービスを諸先生方に期待しています。

次に、園の利用者の年齢が高齢化してきています。それに伴い利用者の父兄や保護者の年齢もまた高齢化してきて、いずれは保護者の役割を果たせない時が遠からずやってくるかと予想されます。また施設利用者に対して無理解な保護者がおりますので、そのようなときにおいても園において、適切な対応が出来るよう心掛けて頂きたいと思います。

次に、園において毎年、利用者や保護者、先生方との楽しい一時を過ごすための諸々の行事を行っておりますが、この件につきましても、より一層の支援をお願いします。

以上の件に対する先生方の気苦勞や負担は大変なこととは思いますが宜しくお願いします。

歩きはじめた支援費制度

小黒正子

なんども説明を受け、書類を読みかえして、とまどいながらも受け入れた支援費制度。一つ、一つの書類の説明を受け、名前を書き捺印を押す。だんだん「これからどうなっていくのかな・・・」と心配になってくる。いつ、どんな時に利用すればよいのかわからない。なかなか一歩がふみだせない。そんな時に、学園の配慮で、「温泉はどう？ 行きませんか？」-----お風呂の

好きな息子は機嫌がよい。

「ホットケーキを作って食べませんか？」

「パークゴルフをやってみませんか？」

「自転車で散歩しませんか？」-----自転車が大好きなので大喜びです。

・・・と声をかけていただきまして、息子は楽しいおもいをしています。これからは難しく考えないで、支援費制度となかよく付きあっていこうと思っています。

今年の行事・支援費制度について

吉本典子

今年から学園にお世話になり、何も分からないまま役員になりましたが、今年の行事などを書いて欲しいとの事ですが、年間行事を把握できていないので用事のない限り参加していこうと思っています。支援費

制度については、15年度から変わる事は高校の時先生から何度も説明を聞いたり、プリントを頂いたり情報を提供してくれました。制度が始まってから6ヶ月になりますが、ちょっと疑問に思う事もあります・・・

花壇作りに参加して

黒澤洋子

貴重な休日にもかかわらず今年は大勢のお父さんと園生の御兄弟と思われる若い方の参加もあり、花を配って歩く人、植える人、水をかける人、そして、草取りする人と段取り良く仕事が進み、短時間で終わることが出来ました。

出来上がった花壇の回りに腰を下ろし、お茶をいただいで一休みした後は食堂の掃除と皆さんにはもう一頑張りしていただきました。ほんとうにご苦勞様でした。又、来年も皆さんで参加できる事を願っております。

編集後記

この4月から支援費制度が始まり、11号は支援費についての会報になりました。大きな変化なくスタートした感じですが、政府が目指す本当の意味での改変

はこれからと思われます。制度を利用する人が、充実した毎日を送るために、みんなで市町村や施設の情報を交換し、制度を活用したいものです。

